## 函館全体エリアマップ



# 西部地区 てくてく開港通り 弁天町 函館駅前 录の島 弥生町 市役所前 船見町 豊川町 元町 山麓 675 青柳町

正館

# 開港通り

知ってる?

知ってる? 「開港通り」は、函館朝市から金森赤レンガ 倉庫などがあるベイエリア、二十間坂までの 道路の愛称で、函館市民から寄せられた511

点の名前の中から選ばれ、平成26年(2014)に命名されま した。「近代日本の発展は開港から始まっているとともに、函 館の街の発展の原点は『港』であり、今後、この通りが開港 したときのように発展して欲しい」などの理由から選ばれ、地 域の方をはじめ多くの観光客でにぎわっています。





函館市電路線図



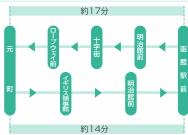
各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

**節間は 市電 1 日乗車券販売中!** 大人600円・小人300円

[函館市企業局] 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730

https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/hakodateshiden/

「元町・ベイエリア周遊号」 元町観光にとっても便利な循環バス(バス停は主な停留所を記載 「元町・ベイエリア周遊号」をご利用下さい。



大人210円·小人110円

画版 1日乗り放題券 バス車内にて販売中! 大人800円·小人400円

[函館バス株式会社]

函館営業所/函館市高盛町10番1号 TEL.0138-51-3135

回题间

観光情報サイト"はこぶら" https://www.hakobura.jp/





https://event.hakobura.jp/





函館市観光部 TO40-8666 北海道函館市東雲町4番13号

(2020年1月発行)

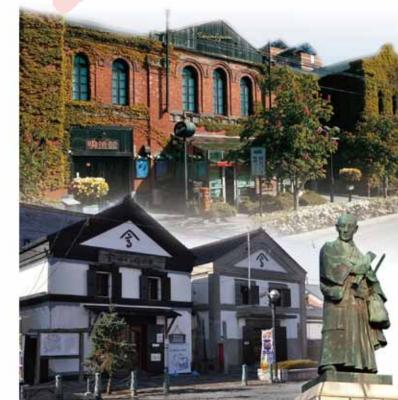
# まちあるきマップ

てくてく開港通り

~街の発展と食を訪ね歩く~



- · 函館朝市
- ・ニチロビルディング
- ・はこだて明治館
- ·箱館高田屋嘉兵衛資料館
- ・金森赤レンガ倉庫群
- ·二十間坂
- ·高田屋嘉兵衛像



### 1 函館朝市



第二次世界大戦後、函館駅近く で近隣の農家が野菜や果物を持 ち込み、立ち売りを始めたのが市 場の始まり、現在は、魚介類をは じめ、野菜、乾物などの様々な店 がひしめき合い、新鮮な函館の旬 の味が集まっている。

### 2 ニチロビル



北洋漁業で栄えた函館を象徴する建物のひとつで、昭和初期に建設された。1階には建築当時の姿をいかしたお洒落なカフェがあり、洋風のおかずやサラダなどの「デリ(お惣菜)」、サンドイッチ、自家製バンなどを取り扱っている。

### 3はこだて明治館



明治44年(1911)に函館郵便局として建てられた赤レンガの重厚な建造物。現在は、ガラス製品やオルゴールなどのショッピングモールとして活用されている。

### 4 箱館高田屋嘉兵衛資料館



私財を投じて地域貢献に尽力し、 箱館繁栄に寄与した高田屋嘉兵 衛の生涯を今に伝える資料館。

### 5金森赤レンガ倉庫群



明治20年(1887)に函館で初めて渡辺熊四郎が倉庫業を開業。現在の建物は、明治40年(1907)の大火で焼失後、明治42年(1909)に再建された。館内には、ひとロサイズのチーズケーキから、旬のフルーツを使ったフレッシュケーキまでが並ぶ人気スイーツ店をはじめ、みやげ品、アクセサリー、雑貨などを扱うショップが集まっている。

### 6二十間坂



明治12年(1879)の大火後、防火帯として造成された坂で、路幅が二十間(約36m)あるので「二十間坂」と呼ばれている。坂道沿いには、明治12年(1879)創業のスイーツも販売している。

### 7 高田屋嘉兵衛像



北前船と呼ばれる廻船業・漁場 経営などの事業を手がけ巨額の 富を築く一方、私財を投じて地域 貢献に尽力するなどの高田屋嘉 館の別績をたたえるとともに昭和 館の開港100年を記念して昭和 33年(1958)に建立された銅像。

※函館市を含む38市町の北前船寄港地 日本遺産認定(平成30年5月現在)

